

# 黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長: シェカール・メータ  
 第 2550 地区ガバナー: 石田順一  
 事務所: 〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15  
 ベルヴィ宇都宮内  
 TEL: 028-651-2550  
 FAX: 028-651-2551  
 E-mail: [m2550@agate.plala.or.jp](mailto:m2550@agate.plala.or.jp)

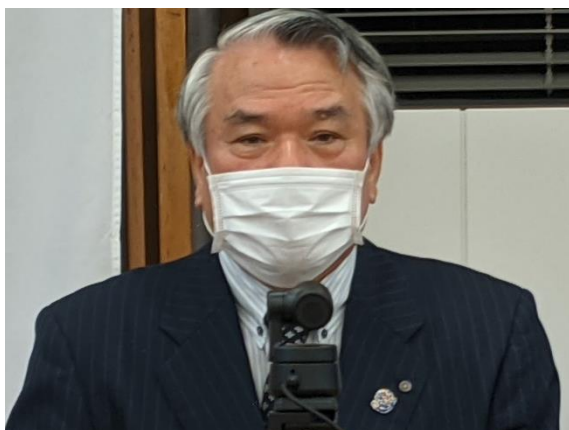


奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長: 荒牧明二 幹事: 安藤譲治  
 事務局: 食健サロンの塩梅  
 〒325-0055 那須塩原市宮町2-8  
 TEL: 0287-73-5101 FAX: 0287-73-5102  
 E-mail: [hideki\\_akiba@akibacorp.com](mailto:hideki_akiba@akibacorp.com)  
 例 会: 国民の祝日を含まない週の水曜日  
 12:30 - 13:30  
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

## 第2936回 荒牧年度 第8回 (第5回オンライン例会) 会報 2021-9-29 司会村山茂君

### 会長挨拶 荒牧明二会長



皆さんこんにちは、「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますがその通りではないでしょうか。夜空には、もやもや雲が切れすっきりと、星を満天に見ることが出来ます。

耳を澄ますと、蟋蟀の鳴き声が聞こえます。昆虫は最初の抒情詩人とは、昆虫学者のファブールの言葉です、また「歌い手の第一位」とも述べています。昆虫たちの、「詠唱」は、心和む忙中閑のひと時となっています。(多忙を極める中にもわずかな暇はあるものだ)

今日は、この方の実話をお話したいと思います。ある国に、三人姉妹がいました。綺麗な姉は女優に。優秀な次女は大学医学部へ。「それに比べて、私は……」。引っ込み思案の三女は、劣等感で押しつぶされそうだった。

そんな少女が変わったのは中学時代。ボランティアで、身体障害児達と一緒に遊んだ時でした。歌を歌うと、障害児たちは全身で喜びを表現してくれた。逆に、自分が明るく、前向きになった。

それがきっかけで歌手になった。これは、あの有名な歌手、「ひなげしの花」や「草原の輝き」のヒット曲を歌った、アグネスチャンさんの体験であります。

自分のことばかり考えていると、エネルギーが胸の中へ中へと入って苦しくなる。そんな時、ちょっと自分を忘れて、人のために働いてみる。それが「楽になれる方法、エネルギーの出口が見つかる魔法」とアグネスチャンは語っております。

後に彼女は、「日本ユニセフ協会大使」として、また現在は作家としても多忙を極めています。

人の為に尽くす行動こそ「小さなエゴの殻を破り、自身の心を大きく広げ、磨き高めてゆく道」が人の道だと思えます。また、人の為に灯をともしれば、自分も明るくなる、と思えます。

人にはそれぞれの個性があります。個性とは「他の人と違った、その人特有の性質、性格、個人の特性」を意味します。

生まれ育った地域によって県民性が養われるのと同じように、家庭環境や交友関係、生活スタイル、教育や躾などによって、私たちの個性は形成されます。「正直で素直」「明るく陽気」「穏やかで優しい」「責任感が強い」「几帳面」「気配りが出来る」「協調性がある」「忍耐強い」など、個性は人によって多種多様です。

そうした個性は、人間関係を良好に保つ潤滑油になります。

中国の思想家である孔子は、弟子たちに、理想とする生き方を尋ねられて、次のように語ったと言われています。

「年長者からは安心され、同輩からは信頼され、年少者からはなつかれる」。このような個性を身に着けるには、様々な経験と時間が必要かもしれません。

しかし、誰にでも、人から愛され、好かれるような個性があるものです。今日までに培ってきた個性を生かして、良い人間関係を築いていきたいものです。

以上で、会長挨拶を終わります。有難うございました。

出席報告 出席委員会 君

(出席規定の免除会員数7名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日 9月29日	37 (7)	37 (7)	0 (0)	100%		
前回 9月15日	37 (7)	37 (7)	0 (0)	100%	0	100%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)  
 メール [gavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp](mailto:gavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp)

## 委員会報告 稲垣政一副会長



委員会報告をお持ちの方は挙手願います。  
該当無

## 幹事報告 安藤譲治幹事



- 現況報告書が完成いたしました。レターボックスに入れておきますので、よろしくお願い致します。
- ガバナー事務所より、職業奉仕活動アンケート調査集計結果が届いています。時庭稔職業奉仕委員長に転送いたしました。
- ガバナー事務所より、熱海豪雨災害支援金・佐賀長崎豪雨災害支援金の報告が届いています。熱海には41クラブより合計160万円、佐賀長崎には43クラブより合計160万円の寄付を送金しました。

## ニコニコボックス 瀧田雅仁スマイルボックス委員長

以下の皆様から貴重な浄財を頂きました。  
ありがとうございました。

- 石田順一ガバナー
- 富田勸ガバナー補佐
- 坂本光様
- 小金幹典様



## バナー交換



石田順一ガバナー(左)、荒牧会長(右)

## ご挨拶 石田順一ガバナー



黒磯クラブの皆様こんにちは。

私は、今年度ガバナーを務めさせて頂いております、真岡クラブ所属の石田順一でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

栃木県に「緊急事態宣言」が発出され、地域の経済やロータリー活動に制約などもあり、ロータリアンの皆様は、大変なご苦勞をされていることと、ご拝察申し上げます。

本日の公式訪問もロータリアンの皆様の健康



と安全を最優先に考え通常のプログラムと違った形を取らせて頂きましたことに、お詫び申し上げます。

このような中でも、地区の運営に対しましては、大変なご支援とご協力を頂いておりますことに、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

先程は、会長幹事懇談会も終わりました、こうして皆さんとお会いする機会を頂きましたこと、大変嬉しく思っております。

さて、ロータリーは大きな変革の時を迎えていると言われております。

今年度のRI会長シェカールメータさんは、「奉仕を通じて大きなインパクトをもたらすには、ロータリーの会員基盤を広げる必要があります」と言っています。もっとも強く発信されたひとつに、会員増強です。

全会員がロータリーに一人を入会させることを求めました。これを実践できたら、黒磯クラブさんは、倍の74名になります。凄いことになります。

でも、今年度の地区目標はでは、純増2名以上をお願いしておりますので、これなら達成できると思っておりますので、是非ともご協力の程をお願い申し上げます。

また、私が今年度の地区スローガンに「未来のクラブを描きましょう」と掲げさせて頂きました。5年度の自クラブの姿を思い描いて頂きたいと思っております。

それには、ロータリーのビジョン声明に沿った、行動計画を立案して頂きたいと思っております。

お時間の関係もございますので、今ここで細かいお話はしませんが、マイロータリーから行動計画について見る事ができますので、是非とも、マイロータリーをのぞいてみてはいかがでしょうか。

魅力あるロータリークラブの姿を話し合ってみてください。

結びに、貴クラブの益々のご発展と会員皆様のご健康、ご活躍、そして楽しいロータリーを実践して頂きますよう祈念いたしまして、挨拶と致します。

ありがとうございました。

## 卓話 スマイルボックス委員会 瀧田雅仁委員長

新型コロナウイルス感染症の現状について、インターネット上で公開されている情報に基づきお話しいたします。

7月末の東京オリンピックテニスの競技会場は無観客で開催されました。ほぼ一か月後の8月末に全米オープンテニスが開催されましたが、決勝が行われた9月13日、アーサーアッシュスタジアムは収容観客数2万3,000人を超えて

います。

観客席を見てみますと、大会関係者以外ではマスクをしている観客はほぼ見当たりませんでした。この日のアメリカ合衆国の感染者数は28万5,058人、死亡者数は1,725人となっています。同日、日本では感染者数4,165人、死亡者数50人です。それぞれの総人口を考慮しても圧倒的にアメリカでの感染者数が多いのですが、競技開催にあたってのコロナ感染症に対する両国の考え方の違いに国民性を強く感じました。



世界各国の感染者数の推移ですが、6月時点でイスラエルでは新型コロナワクチン2回接種率が6割を超え、一時流行していたアルファ株による感染はほぼ完全に収まりました。

しかし、社会的制限を一切解除したところ(マスク着用義務なし、集会制限なし、飲食に関する制限なし)、そのタイミングでデルタ株感染が爆発的に発生しました。そこでイスラエル政府は、60歳以上のワクチン2回接種終了後5か月以上経過した人を対象にブースター接種(3回目の接種)を始めました。

現在問題となっているコロナ変異株ですが、WHOは①感染力が強い②感染した際の重症度が上がる③ワクチンの効果が下がる一などの性質の変化が起こったとみられる変異ウイルスを「懸念される変異株」として国際的に警戒するよう呼びかけています。

話題のデルタ株は、インドで最初に確認された変異株のことです。

WHOは特定の国への差別的な扱いを防ぐため変異ウイルスをギリシャ文字で呼ぶよう提唱しています。

日本国内の感染状況では、デルタ株感染患者の割合が急激に増加しており、現在では従来型のウイルスとほぼ置き換わったとみられています。8月以降の感染はほぼデルタ株となっていると考えられています。

感染力が非常に強いとされるデルタ株ですが、検査会社の報告によれば、デルタ株感染患者から検出されるウイルス量は従来株の4倍以上で

あるとされています。

従来のコロナウイルスでは、1人の患者は平均1.4～3.5人程度に感染させていたのに比べ、デルタ株では平均5～9人程度に感染させる可能性があり、水ぼうそうと同程度の感染力があると推定されています。麻疹(はしか)は対策を取らない場合、1人から12～18人に感染するとされています。

日本では、9月27日時点でおおよそ170万人が新型コロナウイルス感染症と診断されており、累計死亡者数は1万7,000人を超えています。

新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間は、発症の2日前から発症後7～10日間程度とされています。発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなると考えられており、新型コロナウイルス感染症と診断された人は、症状がなくとも不要・不急の外出を控えるなど感染防止に努める必要があります。

新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、他の人に感染させているのは2割以下で、多くの人は他の人に感染させていません。

感染防護なしに3密(密閉・密集・密接)の環境で1人の感染者が何人もの人に感染させてしまうことがなければ、新型コロナウイルス感染症の流行を抑えることができます。

治療に関しては軽症の場合は経過観察のみで自然に軽快することが多く、必要に応じて解熱薬などの対症療法のみとされてきましたが、7月に抗体カクテル療法というものが特例承認されました。使われるのは2種類の中和抗体(カシリビマブ/イムデビマブ)を組み合わせた点滴薬「ロナプリーブ」という薬剤です。対象となるのは、発症から7日以内の軽症から中等症、50歳以上、肥満、心血管疾患、慢性肺疾患、糖尿病などの重症化リスクを抱える患者とされています。抗体カクテル療法は、軽症者に投与して重症化や死亡を7割減らしたとの結果が出ています。

次にワクチンについてです。現在日本で承認されている新型コロナワクチンは、メッセンジャーRNA(mRNA)ワクチンであるファイザー社製とモデルナ社製、ウイルスベクターワクチンのアストラゼネカ社製の3つです。これまでに接種を受けた方の割合は、総人口の68.7%、65歳以上の方に限れば90%を超えています。

これで集団免疫獲得が進み、コロナ禍も収束に向かうのかと思われていましたが、いわゆるブレイクスルー感染と呼ばれる状況があることがわかってきました。

ブレイクスルー感染とは、2回のワクチン接種を完了し一定期間を経て免疫獲得が期待されているにもかかわらず、それ以後に感染してしまうことを言います。ワクチン接種後、長い時間が

経過すると増えていくブレイクスルー感染ですが、軽症で済むとされています。

米国CDCは、接種を済ませた人がブレイクスルー感染のために亡くなる恐れは0.001%未満であるとしています。

イスラエルを含む幾つかの国々は、ブレイクスルー感染が増えて来たことを受けて3回目の接種を始めています。イスラエルの研究者は、3回目接種によって感染と重症化の両方に対して高い防御効果を得られるとしています。

日本でも3回目接種が検討されており、早ければまず医療従事者を対象に12月以降にも始まる見通しです。こうした動きの一方で、ワクチン開発に携わった科学者が「ワクチン接種を終えた人の免疫力を高めるブースター接種は、全員には必要ない。国民のわずかししかワクチン接種ができていない国に、ワクチンを届ける必要がある。」と訴えています。

ワクチン接種回数別の感染者数ですが、全年齢では10万人当たり未接種者では37.8人感染しているのに対し、2回接種者は3.1人と10分の1以下になっています。

これまでにないタイプのワクチンについて躊躇されている方もいらっしゃると思いますが、免疫学を専門とされている大阪大学名誉教授の宮坂先生は、「mRNAワクチンの開発自体にはすでに10年を超える年月が費やされています。そして、その間に動物を用いた安全性研究も十分に なされていて、投与されたmRNAが子孫に伝わらないことや、受精、妊娠にも影響を与えないことが明らかにされています。」とおっしゃっています。

私は、mRNAワクチンはそのメリット・デメリットを考えたうえで非常に有益な安全なワクチンであると考えています。

以上で私の卓話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

## SAA 村山茂君





## ガバナー公式訪問



石田順一ガバナーを歓迎して。向かって左より秋間会員、坂本様(ガバナー随行)、小金様(ガバナー随行)、富田ガバナー補佐、石田ガバナー、荒牧会長、安藤幹事、澤田会員、吉光寺会員



RIテーマがラッピングされたガバナー号



会長幹事懇談会。石田順一ガバナー(左奥)、富田勸ガバナー補佐(左手前)。



ガバナー随行、坂本光様(左)、小金幹典様(右)

### ●編集後記●

9月29日。晴れやかな秋空のもと、石田順一ガバナーをお迎え致しました。

石田ガバナーは以前、冬季に那須塩原に来たことがあったようで、那須は寒いという印象とお話されていました。

歓迎石田ガバナーの看板の下、笑顔で記念撮影。

程なく、囲炉裏のある奥座敷で石田ガバナー、富田ガバナー補佐、荒牧会長、安藤幹事による会長幹事懇談会が開催されました。

今回のガバナー公式訪問は、コロナウィルス感染症対策として、最小限の人数で開催されました。

秋間忍会員と澤田吉夫会員は、地区で随行の坂本様と親しくされており、随行の方々の接待として自ら名乗り出て、ご参加下さいました。

お食事は、ガバナー、ガバナー補佐、会長、幹事の4名は囲炉裏の奥座敷において、随行の坂本様、小金様、秋間会員、澤田会員は二階の例会場でそれぞれ召し上がりました。

随行のお二方も、面識ある秋間会員、澤田会員とにこやかに談笑され、石山さんの美味しい昼食に舌鼓を打っておいででした。

当初の予定では、ガバナーは例会には参加せず、懇談会終了後お帰りになる予定でしたが、リモートによる例会と聞き、黒磯クラブの皆様にご挨拶したい、と急遽例会にご参加下さいました。

荒牧会長の挨拶、瀧田会員による卓話も「うんうん」と、頷きながら傾聴されている姿が印象に残りました。

石田ガバナーにおかれましては、ご多忙と存じますが、お体ご自愛頂き、来年の6月の任期まで頑張ってもらえればと存じます。

会報委員会委員長 吉光寺政雄 拝

9月29日 理事役員会の決定により全員出席扱いとする。

前回9月15日分メイクアップ(敬称略) 無

次回例会 令和3年10月13日 担当社会奉仕委員会

#### 近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋  
○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館

0287-36-0028  
0287-23-4165

#### 近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月  
○金曜日 黒羽/ホテル花月

0287-54-1105  
0287-54-1105

会報委員会：吉光寺政雄・鳥居輝一・高木慶一・瀧田雅仁・藤崎善隆